

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	高強度運動がコンディションおよび腸内細菌叢に及ぼす影響に関する研究
倫理審査委員会承認番号	2022-039
研究開始日	2019年2月15日
研究終了日	2024年3月31日
研究目的	コンディションが低下するような高強度運動トレーニング現場において、腸内細菌叢とコンディションの変化を縦断的に検討していくことを目的としています。
研究対象者	アスリート
研究概要	近年、腸内細菌が疾患や健康状態に関わることが知られてきました。しかし、運動やスポーツ現場におけるアスリートの研究は発展途上と言えます。そのため、アスリートにおける腸内細菌叢の特性や、アスリートの高い運動強度のトレーニングがそれらにどのような影響を与えているかは明らかになっていません。本研究では、各競技で優秀な成績を収めているアスリートを対象に糞便試料から得た腸内細菌叢のデータ（菌の割合、多様性、機能等）を解析し、体力測定、アンケート調査、生化学検査の結果との関連性を縦断的に検討します。これらのデータはコンディションの変化が腸内環境に及ぼす影響を検討することを目的としています。
研究に用いる情報の種類	年齢・性別・競技種目名・競技レベル・トレーニング状況、一般生活習慣アンケート、腸内細菌叢（菌の種類、割合、機能など）、握力、垂直跳び、長座体前屈、最大酸素摂取量、無酸素パワー、分泌型免疫グロブリンA、心拍数
情報の提供先	医薬基盤・健康・栄養研究所（本研究で得られたデータは医薬基盤・健康・栄養研究所の研究課題「腸内細菌等の研究に関するデータのデータベース化および統合解析」に提供され、NIBIOHNマイクロバイオームデータベースに登録の可能性があります。また、他研究課題から得られたデータとともにバイオインフォマティクスの手法などを用いて解析され、腸内細菌叢など一部のデータは個人が特定できない形での一般公開、必要な研究倫理審査を経た上での他研究機関への提供の可能性があります。） 八洲薬品株式会社【ショットガン解析（腸内細菌叢解析の一つ）は医薬基盤・健康・栄養研究所より八洲薬品株式会社に委託されます。】
研究の資金源 研究に係る利益相反及び 個人の収益	本研究の資金源は、JISS内予算です。 （ショットガン解析の分析費用については、医薬基盤・健康・栄養研究所の予算となります。） 本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	谷村祐子/スポーツ科学・研究部
研究分担者	星川雅子/スポーツ科学・研究部 清水和弘/スポーツ科学・研究部 中村真理子/スポーツ科学・研究部 南里妃名子/医薬基盤・健康・栄養研究所 中潟崇/医薬基盤・健康・栄養研究所 國澤純/医薬基盤・健康・栄養研究所 細見晃司/医薬基盤・健康・栄養研究所 水口賢司/医薬基盤・健康・栄養研究所 宮地元彦/早稲田大学（医薬基盤・健康・栄養研究所 客員研究員） 赤澤暢彦/早稲田大学（国立スポーツ科学センター 協力研究員） 村上晴香/立命館大学（医薬基盤・健康・栄養研究所 客員研究員）
問合せ先	谷村祐子 スポーツ科学・研究部 電話:03-5693-0231 E-mail:yuko.tanimura@jpnssport.go.jp